

全県連盟宛 H24-072 号(国)
平成24年 10月 26日

ボーイスカウト静岡県連盟
理事長 土山和雅様

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
事務局長 木村公一



**平成24年度日韓スカウト交歓計画 日韓スカウトフォーラムへの
スカウト推薦について (お願い)**

当連盟では、日韓文化交流基金からの委託を受け、平成25年1月10日から23日までの14日間「平成24年度日韓スカウト交歓計画」を別紙要項の通り開催することとなりました。

つきましては、これらの一環として、日本のスカウトとの交流を目的とし、1月12日から14日まで日韓スカウトフォーラムを開催しますので、貴県連盟内にご周知いただき、適格なスカウトを下記の通り11月30日までに別紙推薦用紙にてご推薦いただきたくお願い申し上げます。

また、より多くのスカウトに国際交流の機会を提供する為、過去の本計画へ参加した経験のないスカウトのご推薦をお願いします。

記

貴県連盟依頼内容

日韓スカウトフォーラムの参加者2人の推薦：

- ① 中学2年生または中学3年生のスカウト 1人
- ② 高校生年代のベンチャースカウト 1人

フォーラム会場から遠方の北海道・東北ブロックと、関東ブロックの県連盟から高校生年代のベンチャースカウトを2人、それ以外のブロックの県連盟からは中学生のスカウト1人と高校生のベンチャースカウト各1人の推薦をお願いします。

対象者：・韓国スカウトと進んで英語で意見交換したい意欲のあるスカウト
・世界のスカウト運動に関心があるスカウト
・プログラム全日程に参加できるスカウト
(過去に「日韓スカウトフォーラム」または「日韓スカウト交流プログラム」に参加したことがない者が望ましい)

欠員の補充： 参加者に欠員が生じた場合は、事業の目的上、韓国スカウトと人数をあわせるため、フォーラム開催地および近隣の県連盟で補充を調整します。

推薦期日： 平成24年11月30日(金)

同封資料： ・平成24年度日韓スカウト交歓計画事業基本構想(案)、日程表
・平成24年度日韓スカウトフォーラム募集要項、フォーラム日程表
・平成24年度日韓スカウトフォーラム参加スカウトの推薦用紙
※推薦するスカウトが募集人数より多い場合は、お手数ですが推薦用紙をコピーしてご記入ください。

この件に関するお問い合わせ

事務局国際部 TEL:03-5805-2568 FAX:03-5805-2908 E-mail:intl@scout.or.jp



公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
平成24年度「日韓スカウト交歓計画(韓国スカウト招聘)事業」
事業実施基本構想(案)

平成24年10月12日

1. 事業名称

平成24年度「日韓スカウト交歓計画(韓国スカウト招聘)事業」

(財)日韓文化交流基金事業正式名称:

アジア大洋州地域及び北米地域との青少年交流(キズナ強化プロジェクト)日韓スカウト交流事業

2. 事業実施の経緯

平成10年10月の金大中韓国大統領訪日の際、金大統領と小渕恵三総理大臣により署名された「共同宣言」及び附属の「行動計画」に基づき、日韓両国の明日を担う中・高校生の交流促進事業が外務省により平成11年度より10年間にわたって実施されることになった。

小渕総理の提唱によるこの青少年交流事業は、21世紀の日韓を担っていく日韓両国の中学生、高校生どうしの交流を促進し、若い世代の相互理解を深め、将来の日韓間の国民的な友好協力関係の基礎を強化することを目的としており、日本政府の経費負担により「10年間で日韓の中高中生1万人の交流を行う」とするもので10年間、毎年1000人の交流を促すものである。外務省ではこのうち300人の交流について本連盟に展開を依頼することとし、残る700人については韓国中・高校生の日本への修学旅行に対する支援とすることになった。

本連盟はこの依頼を受けて、10年間毎年150人の韓国中・高校生スカウトと事業実施に必要な数の指導者を招聘し、日本側150人の青少年との交流を図るプログラムを展開することになった。

この交流事業は外務省所管の(財)日韓文化交流基金が外務省より委託を受けている「日韓学術文化青少年交流事業」の一環として、「日韓ボーイスカウト・ガールスカウト交流事業」として日韓中高校生交流事業の一つに位置づけられ実施されることになった。このことを受け、日韓文化交流基金は財団法人ボーイスカウト日本連盟を実施団体として事業実施委託を行い、同基金から本連盟に経費が支出されることになった。

平成19年1月にフィリピン・セブ島で開催された第2回東アジアサミットにおいて、安倍晋三総理大臣から提唱された「東アジア青少年大交流構想」により、新たに東アジア諸国内の青少年を対象とした「21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme: Japan・East Asia Network of Exchange for Students and Youths)」が実施されることとなった。この青少年交流事業は、東アジア諸国間の地域共有の将来ビジョン作りと「アジアの強固な連帯」にしっかりとした土台を与え、青少年交流を通じた相互理解の促進を図ることによりアジアでの良好な対日感情の形成を促進する目的から、東アジア首脳会議参加国(ASEAN、中国、韓国、インド、豪州、ニュージーランド)を中心に、その後5年間、毎年6,000人程度の青少年を日本に招くというものである。

これを受け、過去8年間続けられてきた当交流事業は、「21世紀東アジア青少年大交流計画」の一環として新たに位置づけられ、外務省所管の(財)日韓文化交流基金が外務省より委託を受け実施される「東アジア青少年交流事業」として、日韓中高校生交流事業(日韓ボーイスカウト・ガールスカウト交流事業)として実施されることになった。これにより過去8年間同様、日韓文化交流基金は財団法人ボーイスカウト日本連盟を実施団体として事業実施委託を行い、同基金から本連盟に経費が支出されることになった。

平成23年度に実施から5年を迎えた「21世紀東アジア青少年大交流計画」は終了することとなったが、平成23年3月1日に発生した東日本大震災後の日本に対する諸外国の理解を深めるため、平成24年度からアジア太平洋地域および北米地域との青少年交流事業「キズナ強化プロジェクト」が新たに実施されることとなり、このプロジェクトの一環として、日韓スカウト交流事業を継続することとなった。

平成11年度の事業については、男子スカウトのみでなく女子を含む招聘事業として欲しいとの韓国政府の要望を受け入れ、韓国の男子中・高校生ボーイスカウト120人、女子中・高校生ガールスカウト30人の150人と24人の指導者を招聘し約2週間我が国に招き日本スカウトとの交流事業を実施した。実施にあたっては、ボーイスカウト日本連盟が幹事団体となり、ガールスカウト日本連盟にガールスカウト30人と指導者4人の受け入れを依頼した。当連盟は、4こ隊のプログラムとして、第8回日本アグーナリー（全国障害スカウト大会）、大阪・福島各連盟創立50周年県野営大会への参加、国際フォーラム、交流プログラム、ホームステイを実施して大きな成果をあげた。

第2年次にあたる平成12年度は、本連盟でボーイスカウト韓国連盟所属の男女中・高校生スカウト100人及び指導者16人を受け入れ、ガールスカウト日本連盟に中・高校生ガールスカウト50人と指導者5人の受け入れを依頼した。当連盟で受け入れる韓国スカウトについては3こ隊にわけ、第5回日本ベンチャー（主会場大分県）、新潟連盟主催日本海大会、兵庫県大会へそれぞれ参加するとともに、国際スカウトフォーラム、ホームステイプログラム、学習プログラムを実施して大きな成果をあげた。

第3年次にあたる平成13年度は、平成12年度同様、本連盟でボーイスカウト韓国連盟所属の男女中・高校生スカウト100人及び指導者16人を受け入れ、ガールスカウト日本連盟に中・高校生ガールスカウト50人と指導者5人の受け入れを依頼した。当連盟で受け入れる韓国スカウトについては3こ隊にわけ、千葉県大会、長野県大会、岐阜県大会へそれぞれ参加し、広島市青少年野外活動センターで日韓スカウトフォーラムを開催するとともに、ホームステイプログラム、学習プログラムを実施して大きな成果をあげた。

第4年次にあたる平成14年度は、平成13年度同様、当連盟でボーイスカウト韓国連盟所属の男女中・高校生スカウト100人及び指導者16人を受け入れ、ガールスカウト日本連盟に中・高校生ガールスカウト50人と指導者5人の受け入れを依頼した。本連盟で受け入れる韓国スカウトについては3こ隊にわけ、大阪市舞洲スポーツアイランドで開催した第13回日本（第23回アジア太平洋）ジャンボリーへそれぞれ参加し、神奈川県伊勢原市で日韓スカウトフォーラムを開催するとともに、ホームステイプログラム、学習プログラムに参加する機会を提供した。

第5年次にあたる平成15年度は、新型肺炎（SARS）の感染拡大状況を考慮し、実施時期を夏季から冬季に延期し実施した。事業内容は、当連盟でボーイスカウト韓国連盟所属の男女中・高校生スカウト100人及び指導者15人を受け入れ、日韓スカウトフォーラムへの参加、長野県内でのウィンタースポーツ体験プログラム、京都・奈良での日本文化紹介プログラム、関西ブロックでのホームステイプログラム等を行った。

第6年次にあたる平成16年度は、韓国スカウト連盟からの依頼に基づき、平成15年度同様冬季に実施した。事業内容は、当連盟でボーイスカウト韓国連盟所属の男女中・高校生スカウト100人及び指導者16人を受け入れ、日韓スカウトフォーラムへの参加、長野県内でのウィンタースポーツ体験プログラム、京都・奈良での日本文化紹介プログラム、関西ブロックでのホームステイプログラム等を行った。

第7年次にあたる平成17年度は、韓国スカウト連盟から男女中高生スカウト66人及び指導者11人を受け入れ、千葉県大会・石川県大会への参加、大会後のホームステイ、日韓スカウトフォーラムへの参加機会を提供できるよう手配を行った。

第8年次にあたる平成18年度は、平成17年度同様、韓国スカウト連盟から男女中高生スカウト66人及び指導者11人を受け入れ、石川県珠洲市で開催する第14回日本ジャンボリーへの参加、日韓スカウトフォーラムへの参加機会を提供できるよう手配を行った。

第9年次にあたる平成19年度は、韓国スカウト連盟所属の男女中・高校生スカウト132人及び指導者21人を受け入れ、平成16年度同様冬季に実施した。事業内容は、日韓スカウトフォーラムへの参加、長野県内でのウィンタースポーツ体験プログラム、京都・奈良での日本文化紹介プログラム、関西ブロックでのホームステイプログラム等を行った。

第10年次にあたる平成20年度は、韓国スカウト連盟所属の男女中・高校生スカウト132人及び指導者21人を受け入れ、日韓スカウトフォーラム、長野県内でのウィンタースポーツ体験、東京周辺での日本文化紹介、関東ブロックでのホームステイ等を含めたプログラムを冬季に実施した。

第11年次にあたる平成21年度は、韓国スカウト連盟所属の男女中・高校生スカウト132人及び指導者21人を受け入れ、日韓スカウトフォーラム、長野県内での自然体験活動、東京周辺での日本文化紹介、関東ブロックでのホームステイ等を含めたプログラムを冬季に実施した。

第12年次にあたる平成22年度は、韓国スカウト連盟所属の男女中・高校生スカウト132

人及び指導者21人を受け入れ、日韓スカウトフォーラムへの参加、長野県内での自然体験活動プログラム、京都・奈良での日本文化紹介プログラム、関西ブロックでのホームステイプログラム等を行った。

第13年次にあたる平成23年度は、韓国スカウト連盟所属の男女中・高校生スカウト130人及び指導者21人を受け入れ、千葉県成田市での交流プログラム、長野県内でのウィンタースポーツ、各地での日本文化見学、愛知連盟のスカウト家庭でのホームステイ、名古屋市内の学校見学を実施した。

第14年次にあたる平成24年度は、韓国スカウト連盟所属の男女中・高校生スカウト90人及び指導者10人を受け入れ、広島県での交流プログラム、東北地方の被災県を中心とした訪問プログラム、各地での日本文化見学、関東地方近郊のスカウト家庭でのホームステイを実施する予定である。

3. 平成24年度韓国スカウト招聘事業

テーマ : Better Understanding, Brighter World 「よりよき理解、明るい世界」

主要プログラム : 中高校年代のスカウトによる日韓スカウトフォーラム、日本の歴史・文化・経済等に関する研修、平和学習プログラム、スカウト家庭でのホームステイ

招聘期間 : 平成25年1月10日(木)～1月23日(水) 14日間

招聘人員 : スカウト87人、指導者13人 合計100人
スカウト (29人×3こ隊) 87人
隊指導者 (4人×3こ隊+派遣団長1人) 13人

参加資格 : 3こ隊のうち、第1隊、第2隊のスカウトについては、高校生のベンチャースカウト、第3隊は中学生のスカウトとする。

招聘日程 : <日程案>

平成25年1月10日(木)	派遣団3こ隊が福岡空港に到着、開会式
1月11日(金)	山口の23WSJ会場を見学し、広島県に移動
1月12日(土)	広島近郊見学後、日韓スカウトフォーラム
1月13日(日)	日韓スカウトフォーラム
1月14日(月)	日韓スカウトフォーラム/終了後、東京へ移動
1月15日(火)	災害に関する講義を受講/終了後、東北へ移動
1月16日(水)	JICEの東北プログラムに参加
1月17日(木)	JICEの東北プログラムに参加
1月18日(金)	JICEの東北プログラムに参加 /終了後、関東各県へ移動し、ホームステイ
1月19日(土)	ホームステイプログラム
1月20日(日)	ホームステイ終了後、成田市内へ移動
1月21日(月)	都内見学
1月22日(火)	プログラムのまとめ/閉会式・歓送夕食会
1月23日(水)	成田空港より帰国

日本スカウト・指導者の参加 : 日韓スカウトフォーラムは、韓国連盟と同数程度のスカウトの参加を呼びかける。

実施経費 : 招聘参加者の渡航費・日本国内滞在費および、日本スカウトのプログラム参加に要する経費、その他対象となる諸雑費は財団法人日韓文化交流基金から支出される委託金により実施する。

以上

平成24年度日韓スカウト交歓計画（韓国スカウト招聘）日程（案）

韓国参加者：100人（3分隊：第1分隊 指導者5人スカウト29人、第2分隊 指導者4人スカウト29人、第3分隊 指導者4人スカウト29人）
 フォーラム参加日本スカウト：94人（各県連盟2人）、 フォーラム日本スタッフ：20人

2012.10.12.現在

	月 日(曜)	場所	時刻	交通	内容	宿泊
1	1月10日(木)	福岡空港(着) 福岡市内	10:50 15時頃	0Z-132 貸切バス	(航空便は変更あり)福岡空港到着後、貸切バスで市内見学の後、福岡市内のホテルに向かう到着後、福岡市内のホテルで日韓スカウト交歓計画オリエンテーション・開会式・歓迎夕食会	福岡市内の ホテル
2	1月11日(金)	福岡(発) 広島(着)	8時頃 21時頃	貸切バス	貸切バスで山口市阿知須きらら浜の23WSJ会場および山口県内を見学し、広島市内のホテルに向かう。	ホテル 法華クラブ 広島 (3泊)
3	1月12日(土)	広島 アステールプラザ 広島	08:00 13:00 14:00	貸切バス	午前中、韓国参加者は貸切バスで宮島見学(13時まで)に帰着) 日韓スカウトが14時までアステールプラザ広島に到着し、2泊3日間の日韓スカウトフォーラムを行う	
4	1月13日(日)	広島			終日、日本のスカウトと日韓スカウトフォーラム	
5	1月14日(月)	広島 広島(発) 東京(着)	午前 11:30頃 13:44 17:33	 新幹線等	日韓スカウトフォーラム全体会・閉会式 <日本スカウト> 会場発 <韓国スカウト> 広島駅へ移動し東京へ向かう。貸切バスにてオリンピックセンターに移動しチェックイン	国立 オリンピック記念 青少年 総合センター
6	1月15日(火)	東京(発) 東北(着)	午前 昼頃 夕方	貸切バス 新幹線等	(午前)災害に関する講義を受講 (午後)東北地方へ移動、到着後貸切バスにて仙台市内のホテルに向かう。日本国際協力センター(JICE)の東北プログラムに参加	東北地方の施設
7	1月16日(水)	東北地方			終日、JICEの東北プログラムに参加	東北地方の施設
8	1月17日(木)	東北地方			終日、JICEの東北プログラムに参加	東北地方の施設
9	1月18日(金)	東北(発) 東京(着) 神奈川(着)	午前 午後	新幹線 貸切バス	東北地方から神奈川県内のホームステイ先へ移動する(以降ホームステイ)	神奈川の スカウト家庭で ホームステイ (2泊)
10	1月19日(土)	神奈川県内			ホームステイプログラム	
11	1月20日(日)	神奈川(発) NYC(着)	午前 午後		ホームステイプログラム終了 オリンピックセンターに集合	国立 オリンピック記念 青少年 総合センター (3泊)
12	1月21日(月)	東京都内	終日	貸切バス	東京都内見学	
13	1月22日(火)	NYC			オリンピックセンターにてプログラムのまとめを行う。日韓スカウト交歓計画閉会式、歓送夕食会	
14	1月23日(水)	ホテル(発) 羽田空港(着) 羽田空港(発)	08:30 10:00 12:05	貸切バス 0Z1015	チェックアウト後、貸切バスで羽田空港に移動する 空路帰国の途へ (航空便は変更あり)	



平成24年度日韓スカウト交歓計画

日韓スカウトフォーラム

参加者募集要項

2012/2013 SAJ-KSA Scout Forum

平成11年度から外務省所管の財団法人日韓文化交流基金が同省より委託をうけ、本連盟が委託展開してきた「日韓スカウト交歓計画事業」を、本年度は平成25年1月10日（木）から1月23日（水）までの14日間、韓国スカウト連盟からスカウト87人指導者13人を我が国に招聘し実施する。

この事業の一環として、1月12日（土）から14日（月）までの2泊3日間、日本のスカウトとの交流を目的として中高生年代のスカウトを対象に「よりよき理解・明るい世界」～Better Understanding, Brighter World～を基本テーマとした日韓スカウトフォーラムを開催する。

1. 日時・場所

- 平成25年1月12日（土）13時～1月14日（月）13時 2泊3日間
(1) 集合 1月12日（土）13時受付 広島市 アステールプラザ 集合
(2) 会場 広島市アステールプラザ
住所：〒730-0812 広島県広島市中区加古町4-17
TEL：082-244-8000 FAX：082-246-5808
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/naka-cs/index.html>
(3) 解散 1月14日（月）11時30分頃 広島駅にて解散

2. テーマ

「よりよき理解・明るい世界」～Better Understanding, Brighter World～

3. 目的

1. 国際理解と参加者同士の友情の促進
2. 参加国間で情報と経験を共有して、スカウトプログラムを有意義にする
3. 参加国間の理解を深める

4. 参加対象

- ・ 中学2年生以上、高校3年生以下のボーイスカウトまたはベンチャースカウト
- ・ 韓国スカウトと進んで交流をする意欲のあるスカウト
- ・ 世界のスカウト運動に関心がある者
- ・ プログラム全日程に参加出来るスカウトで、原則として過去に「日韓スカウトフォーラム」に参加したことがない者が望ましい。

5. 募集人数

- 全国から94人（韓国から招聘する参加スカウトと同数、87人以上）
（内訳）①中学2年生または中学3年生のスカウト 32人（最大）
②高校生年代のベンチャースカウト 62人（最大）
- ・ 各都道府県から高校生年代のベンチャースカウト1人を含めた合計2人の募集を行う。
 - ・ 参加人数が満たない場合は、フォーラム開催地および近隣の県連盟で調整をする。

6. 日程

交流プログラムは別表の日程表を基本として行われる。

7. 経費

(1) フォーラム会場までの旅費

交通費は日本連盟の規定に基づき参加者の最寄り駅より開催地への往復を当日会場で支給する。**(※受領時に個人印鑑(認印で可)が必要)**

(2) 参加期間中の宿泊と食事

宿泊は1月12日から1月14日の2泊を日本連盟が負担する。

食事は1月12日の夕食から1月14日の朝食まで日本連盟が負担する。

8. 持ち物

(1) 個人印鑑(認印で可)、筆記用具、洗面用具、着替え、健康保険証(または写し)

(2) その他期間中に必要と思われるもの

9. 服装

スカウト正装

10. 申込期日

(1) 県連盟への申し込み 平成24年 月 日

(2) 日本連盟への推薦 平成24年11月30日

11. その他

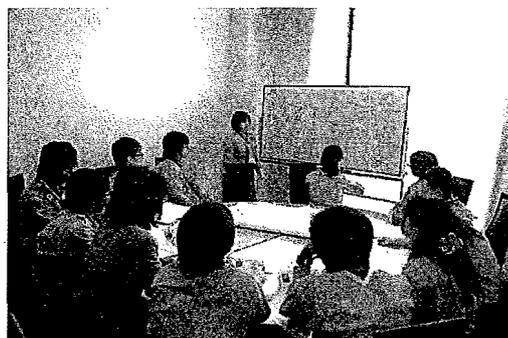
・フォーラム期間中は必要に応じて韓国語の同時通訳または逐次通訳が手配される。少人数グループで行う文化会では、進行内容に応じた手配を行う。

(通訳無し of 英語による交流を行うグループも編成する。通訳無しのグループへの参加を希望するスカウトは、推薦用紙の記入欄に明記する)

・参加スカウトは、参加が決まった後に送付される連絡文書に従い、交流プログラムへの事前準備を行う。

以上

過年度の様子



平成24年度日韓スカウトフォーラム 日程(2012年10月12日現在案)

1日目 DAY 1		2日目 DAY 2		3日目 DAY 3		
1月12日(土) Sat. 12 Jan		1月13日(日) Sun. 13 Jan		1月14日(月) Mon. 14 Jan		
06:00	韓国スカウト 日本スカウト	06:00	起床・洗面・清掃	06:00	韓国スカウト 日本スカウト	
07:00		07:00	朝食 (朝礼)	07:00	朝食・チェックアウト	
08:00	韓国スカウトは 前日より会場宿 泊・オリエンテー ションまでは広 島近郊見学	08:00	平和記念資料館見学 (移動時間含む)	08:00	韓: 荷物積込 日: 荷物移動	
09:00		09:00		会場移動		
10:00		10:00	全体会(同)	10:00	全体発表会 (休憩を含む)(同)	
11:00		11:00	分科会(逐)	11:00	フォーラム閉会(同)	
12:00	日本スタッフ集 合・打合せ	12:00	昼食	12:00	移動準備	
13:00	日: 集合	13:00		分科会(逐)	12:00	広島駅へ向けて貸切バスにて移動
14:00	ホテル帰着後 会場移動	14:00	分科会(逐)	13:00	韓: 新幹線にて 東京へ向けて 出発 日: 解散	
15:00	韓: オリエンテー ション	15:00		開会式(同)	14:00	リーダー プログラ ム
16:00	日: オリエンテー ション	16:00		15:45-16:45 導入セッション(同)	15:00	
17:00	班別集会 (自己紹介・仲間づくり)	17:00	18:00	17:00		
18:00	国別集会	18:00	19:00	18:00		
19:00	ホテルに移動・チェックイン	19:00	19:00	19:00		
20:00	夕食	20:00	19:00	19:00		
21:00	日韓指導者打合せ	21:00	19:00	19:00		
22:00	スタッフ会議	22:00	20:00	20:00		
			21:00	21:00		
			22:00	22:00		

※日程は調整により変更されることがあります。

※(同)… 同時通訳(日・韓)

※(逐)… 逐次通訳

<平成24年11月30日(金)必着>

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
事務局長 木村公一行
FAX:03-5805-2908

平成24年 月 日

ボーイスカウト _____ 連盟
理事長 _____ 印

平成24年度日韓スカウト交歓計画
日韓スカウトフォーラム参加スカウトの推薦

平成25年1月12日(土)から14日(月)までの2泊3日間、広島県広島市で開催する「平成24年度日韓スカウト交歓計画」について、次のとおり回答します。

記

- 中学生のスカウト _____ 人、高校生のベンチャースカウト _____ 人を推薦します
 残念ながら推薦できません

氏名: _____ 推薦順位: _____

フリガナ: _____ 性別: _____

登録番号: _____

学校名: _____ 学年: _____ 年齢: _____

所属: _____ 第 _____ 団 _____ 隊 役務 _____

住所: (〒 _____) _____

電話番号: _____ FAX番号: _____

本人の携帯電話: _____

Eメール: _____

最寄り駅: (JR・私鉄) _____ 線 _____ 駅

進級状況: 平成24年 _____ 月 _____ 日現在 _____ 章取得済

※英語に関する調査(必ずご記入ください。分科会グループ分けの参考となります。)

①分科会における通訳なしの英語ディスカッションを

希望する 希望しない どちらでもよい

②英語の理解度(あてはまる項目の数字を丸で囲んで下さい。)

1. 会話に問題なく、自分の意志を十分に伝えることができる(英語でディスカッションできる)
2. 基本的な日常会話で意思疎通はできる(英語でのディスカッションはやや難)
3. 多少の手助けがあれば会話をすることができる(自己紹介ができる)
4. 簡単な英語は分かるが、会話には自信がない(あいさつはできる)

英語に関する資格:

※韓国語に関する能力等について(何かあればお書きください)